

〔玉城 勇議員 登壇〕

○13番 玉城 勇君 ちょっと休憩をお願いします。

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前11時35分）

再開（午前11時35分）

○議長 宮城清政君 再開します。13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 それでは、質問に入る前に町長、5期20年間大変お疲れさまでございました。数々の行事で感動と感銘を受けておりました。またこれからも本町の発展のために力をかしていただき、これから決まる新しい町長に対しても、是非いろいろなご助言を賜りたいと思います。それから経済建設部長の金城敬宝さん、今期で定年ということでございますけれども、本当に長い間、40年にわたる、町職員として町民のために頑張ってきてられて大変ご苦労さまでございました。今回が最後の議会になりますけれども、町長同様にこれからも職員や、あるいは町民のためにいろんなご尽力を賜りたいと思います。本当にご苦労さまでございました。それでは質問に入ります。

きょうは2点を準備しております。1点目に、待機児童解消に向けての対策についてでございます。（1）先日の新聞紙上で南風原町の保育を必要とする子供の数が大幅にふえているとの報道がございました。そのことについて対策はありますか。（2）現在、年齢ごとの待機児童数はどのようになっておりますか。（3）希望する子供が全員保育園に入園できるように保育園を3園新設する計画があるが、どのように取り組んでまいりますか。（4）保育士の確保はどのように考えておりますか。

2点目でございます。防犯灯のLED化整備等の進捗状況についてお伺いします。

（1）低炭素社会化事業（防犯灯LED化整備）について順調に進んでいると思うが、工事完了後、沖縄電力の許可が取れないところが数カ所あると聞きます。今後の工事はどのようになるのかお伺いします。（2）別途事業で進めている防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業の進捗状況はどのようになっているかお伺いします。以上、お願いします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の待機児童解消に向けての対策について。（1）についてお答えします。本町における保育を必要とする子供の数については、平成29年度の保育園入園申し込みが1,844人、平成30年度が1,969人となっております。1年間で125人ふえております。これを受けて、南風原町子ども子育て会議を開いて、子ども・子育て支援事業計画を見直したところであります。（2）についてお答えします。平成30年度の入園に向けて、現在調査中ですが、ゼロ歳児15名、1歳児120名、2歳児42名、3歳児23名、4歳児5名、5歳児1名、計206名となっております。（3）についてお答えします。公募によって実施をする予定であります。（4）についてお答えします。保育士の確保は全国的な課題であります。本町では保育士確保に向けて町内の認可保育園等に対して保育士等へ月額3,000円の給与補助を行っておりますので、次年度も継続して実施をしております。そのほかにも保育士確保に向けてよい方策がないか、先進事例も含めて検討をしております。

質問事項2点目の防犯灯LED化整備等の進捗状況の（1）についてお答えします。沖縄電力の接続許可が1日当たり50から60灯程度となっております。時間を要しておりますが、年度内には完了する予定であります。（2）についてお答えします。防犯灯113台、防犯カメラ8台の工事請負契約を2月初旬に締結をし、3月末工事完了予定となっております。以上です。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 答弁の回答書がないものですから、書いてはありますけれども。まずは1点目から再質問をしていきたいと思っております。今の答弁からしますと、平成30年が1,969名ということですが、先日の新聞に、ことしの4月入所希望する申込者の1次選考において3月初旬までに外れた子供たちが239名になっておりました。南風原町においてですね。ですから、全体的なものが県のほうで4,994名、本町が236名とあったんですけれども、この数字と新聞との差というのはどのようになっているのか、お答えをお願いします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。議員がおっしゃいます新聞報道の部分は3月16日の新聞報道で、このときは南風原町が入所保留が236人という報道でございます。今回答弁で平成30年度が1,969人の入所申し込みという人数ですが、これは3月9日時点の人

3月23日（第6号）一般質問

数でございまして、1,969人の入所児童がいて、そのうちほぼですね、236人が入所が保留になっているということになります。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 失礼しました。今、資料がありますので、それを参考にしながら質問いたします。それでふえている理由というのが、今、1年間で125名増加しておりますけれども、本町の人口の増加率というのは県内でも高いほうでございまして、そのような状況を、自然増、あるいは社会増でございますけれども、どのように考えられるのか。皆さんがその対策についてどのようなお考えを持っておられるのかお答えをお願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 待機児童がなかなか解消できないということに関しましては、我々担当する部署においては喫緊に、本当にこの課題を解決するためにいろいろ取り組んでいかないといけないということを認識しております。ただ、その現状としましては、本町に転入して来られる方や、あるいは出生も多い町でございまして、そういった形で子供たちの数がどんどん増えているという部分では、また喜ばしいことだと考えます。我々この5年間でも定数は、保育所の定員は593人、定員をふやしております。しかしながら、現状このような形で待機児童がまだまだ解決できない状況にいるということで、新年度からまた3園の施設整備に向けて取り組んでいくということでございまして、いずれにしても、本町におきましては子供の数がそういった形で右肩上がりである状況でございまして、まだこの3園の増園で解決できるのかどうかも、我々はできるという認識でやっておりますが、状況は常に毎年見ながら、この子ども・子育て支援事業計画の見直しも視野に入れながらしっかり取り組んでいきたいと考えています。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 確かに本町の人口増加率というのは、非常に喜ばしいことであると思います。また同じように、子供たちがふえるということも非常にうれしいことでもありますので、今おっしゃったように、ふえることに対する取り組みを是非先取りをして取り組んでいただきたいと思います。

(2)の児童数でございまして、206名が待機児童になっておりますけれども、当初での把握ができるのか。今の、本町の園の状況、定数の状況からしまして、皆さんの想定内の人数になっているのか。あるいはそこまで待機児童がふえるというのは想定してなかったのか、これはどちらのほうですか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 当初の子ども・子育て支援事業計画の時点においては、これほどの増になるという、子供の数がふえるということは想定しておりませんでした。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 以前から申し上げているように、南風原町は地の利が非常によく、道路網が整備されている。多分、沖縄県でもこの道路網、あるいは道路については県内でもトップクラスに、非常に整備されているし、また那覇に近いということもあって、津嘉山の北地区の区画整理の事業も相まって、これからは人口が伸びていくだろうと思っておりますので、毎年毎年そのような状況に当面はいくんじゃないかと思っておりますので、やはり先取りで事業を進めていただきたいと思います。

そこで(3)の質問でございまして、今、公募で3園を募るということでありまして、皆さんに、実際に希望者が既にいるのか、あるいはこれから3園を公募していくのか、その情報というのがないのかどうか、その辺はいかがですか。

○議長 宮城清政君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 実際にこれから公募に入るんですが、やはり問い合わせは入ってきております。ただ、この園が応募してくるかどうかもまだ確定ではありませんが、感觸的には手を挙げてくれるところはあるだろうと思っております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 はっきり申し上げて、これは何カ所ぐらいのお話があるのか。1カ所についてのお話なのか、あるいは3カ所から、3名からそういう話があるのか、それはいかがですか。

○議長 宮城清政君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 2カ所ほどは問い合わせがあった状況です。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 それじゃあ当初計画では2園をまずふやしていくと。県のほうの予

3月23日（第6号）一般質問

算がつけばあと1園追加でふやしていきたいということでございますので、その2園については、今のところ情報としては、可能性はあるのかお答え願います。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 公募を行っての結果にはなると思いますが、現時点でも問い合わせはございますし、公募に応じてこられる方々はいらっしゃるものだと考えております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 それでは、私がこれまでもずっと提案しているのは、どの子供でも入所できる、親が仕事についていても、ついていなくても入所できるようにするのが、私は南風原町の務めだと思っています。子供が保育園に入所するというのは、福祉の事業にも私は該当するのではないかと思います。子供たちは集団の中で成長させていくと。そのためには入所を受け入れして、子供の成長を見守っていく、あるいは手助けしていくというのが子供たちの福祉だと思いますけれども、そうするためには認定こども園の設置とか、あるいは認可外の保育所の助成だと思うんですけども、これについて本町の子供たちをどのように、100%子供たちを保育すべきなのか、あるいはやるためにはどうすればいいのかを検討されたことがございますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 議員がおっしゃいますように、保護者の就労にかかわらず、子供たちには集団保育提供、保育に預けられるという状況、これは町長が以前からそのように常におっしゃっています。本来であれば全ての子供たちを預かりたいと。しかしながら、現時点におきましては、施設数とかまた財政的な問題もございまして、今、それが実現に向けてすぐということでは難しい部分がございますが、当面、喫緊の課題としてまずは待機児童の解消からでございますので、我々はまずこの待機児童をしっかり解消していくことに取り組んでいきたいと考えています。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 やはり、子供を預けたい親の希望をかなえるために、当面は待機児童の解消でありますけれども、その後には全ての希望者の親の子供たちを入所させるような、そういう施策を是非町長、後輩にこれを提案していただきたいと思っておりますけれども、いかが思いますか。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 お答えします。担当部長、課長からありましたように、一番私たちの喫緊の課題は待機児童を解消するためには、やはり努力をしていくことが一番大事だと。そして最終的には、私は、議員がおっしゃるような子供を授かったら、仕事をやっていなくてもやっても、預けたい気持ちがあれば行政として預かるような体制を整えていくのが基本だと。そうすることにおいて、仕事やっていなくても預けることができれば、また心にゆとりがあれば、次はパートでも、また仕事をやっていこうという気持ちになろうかと思っております。是非これは、いろんな工夫をして、まず待機児童の解消のために最善の努力を尽くして、その以降に、最終的には私は子を授ければ、また行政がサポートできるような、これが福祉、また子供たちの健全育成につながるんじゃないかと思っております。この制度は、国の方針もこの一貫に持っていないことには、国全体の正直歯どめは厳しいんじゃないかなと。国の方針を変えていけば、将来においてはまた少子化にも歯どめがきく部分は出てくるんじゃないかと思っております。南風原町としては、仕事をやっていようがないが、最終的には預かるような行政をするのが私は一番大事だと思っております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 町長ありがとうございます。是非そのようにご指導をお願いしたいと思います。

部長、先ほどの答弁では、現実的には厳しいんですけども、やはり町の将来像から見ますと、子供たちの保育というのは福祉でありますので、その子供たちが平等に福祉を受けられるようにしていくのが行政だと思いますので、それについて是非部長のお考えをお聞きしたいと思いますけれども、将来的には是非やってもらえるような方向で進めていただきたいと思いますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。町長の言葉もございました。我々も本当に子供を授かった場合にはそういう形でしっかり行政は預かって、子育て家庭を支援していき、そういう社会にしていけたらと考えます。しかしながら、何度も申しますように、ま

3月23日（第6号）一般質問

ずは我々の喫緊の、一番の課題は待機児童の解消でございますので、まずはその解消を先に、しっかりと取り組んでいきたいと考えます。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 部長、その後の答弁が欲しいんですけれども、その後は是非取り組んでいきますと、それが欲しいんです。後でお願いしたいと思います。子供は、親が仕事をしていないんですけれども、子供を預けることができれば、町長がおっしゃったようにパートにも行けるんです。正規社員じゃなくてもちょっとした仕事はできるんです。そういうことをできるようにするのが、行政の務めだと思いますので、これも含めて答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 私も4人子供を育ててまいりました。4人とも全部認可外の保育園を申し込んでいきました。保育を必要とする家庭ではありませんでしたので、おのずと認可外に行くことになっていきますが、なぜそこを選んだかといいますと、やはり議員が先ほどおっしゃっていましたが、集団保育ですね。1歳、2歳ぐらいはそろそろ集団生活をさせて子供の成長につなげていきたいという部分で、4人ともそういう形をとりました。そうなった場合には、やはりお母さんのほうには時間ができてきますので、先ほど町長がおっしゃっていましたが、パートのことを考えたり、いろいろ自分の時間が使えるようになってきますので、そういった意味でも家庭の状況がすごくよくなっていきます。それは実感として感じております。そういった部分は実際私も体験してきて十分わかっておりますので、待機児童を解消した暁には、町が施設を整備とかそういう方法ではなくても、例えば制度上は、そうやって保育が必要とされない場合はどうしても認可保育園に入れなかったかそういう部分もございまして、じゃあそれにかわるものにもどういったものがあるのか、先ほど議員が提案されておりました認可外施設への支援とか方策、そういったあたり、またそういう時期が来たら認可保育園以外でも子供が行けるような方法とか、集団保育ができるような方法等、そういった部分をしっかりと調査研究して取り組んで行けたらと思っております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 部長、ありがとうございます。幾つも認可園をつくると、将来、少子化になる、向かっていくということもありますので、認可外の認可外の育成、それから認定こども園の設置も一緒に検討していかないと、将来子供の取り合いになったら困りますので、そういうことにならないように、認可の定数よりも子供が少ない場合は、これも役場の仕事ですので、この作業が大変厳しい状況になっていくと思うんです。他の市町村では既に始まっている可能性もあります。しかし本町はまだまだ人口が伸びる地域でありますので、まだそういう心配ないんですけれども、将来的にはそういう可能性もありますので、そういうことが起きないように認可外の育成にも町の助成をもっともっとふやして行って、同じような福祉あるいは教育を受けられるようにやっていただきたいと思います。

(4)にまいります。今、保育士が足りないということで各市町村においていろんな対策をとっております。その中で本町が206名の待機児童がいらっしゃいます。その2園が新しくできたとしても3園で、約90名で270名ということでカバーできるんですけれども、これだけの子供を引き受けるためには保育士が43名ほど必要になってくるわけです。少なくとも4歳、5歳を除いても約40名の保育士が必要なんですけれども、今そのめどについてはどのように把握していますか、お願いします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 新設する3園の保育士の確保のめどについては、今後新たに設置する、応募して決定されたその施設としっかり連携して取り組んでいきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 やはり具体的に取り組み計画をやっていかないと、新設する園も含めてと思っておりますけれども、今本当に保育士足りない、あるいは保育士の資格を持っているけれども他の仕事についていると。そういう皆さんの情報を集めてやっているようでもありますけれども、今の206名に対してでも40名の保育士が必要になるわけです。ですから新しい園がどういう状況で保育士を確保しようとしているのか。その辺も含めて協議をしていかないと、ただ保育園をつくった、保育士が足りないということになってしまうんです。新聞にも枠はあるんですけれども、保育士が足りなくて枠内の定数を入所させることができないという園もあるわけです。その辺はもう既に情報はあると思うんですけれども

3月23日（第6号）一般質問

も、それも含めてどういうふうに、具体的に取組んでいこうとしているのか、それをお聞きしたいんですけれども、いかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 本町におきましては、他市町村では行っていません、最初の答弁にありましたように月額3,000円の給与補助という形で保育士の採用に向けてのインセンティブをやっているわけでごさいます、さらに今後、それに変わる部分、それ以外の部分、こういった形で保育士の確保につながられるかという部分は今後も検討していきたいと考えておりますし、この保育士不足については県内待機児童を抱えている市町村は全て同じ状況でごさいます、実際、潜在的、資格は持っているが保育職についていないという方々が大勢いらっしゃいます。そういった方々がいかに、また保育の職に復職してもらえるかという部分も大事でありますので、そういった部分も含めて、いろいろ他市町村の取組みの状況や、また本町独自の取組み等、しっかり検討して、認可保育園と連携して保育士の確保には取組んでいきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 では、おっしゃったように是非取組んでいただきたいと思っております。時間も進んでおりますので、早目にやりたいと思っております。

2番目の防犯灯の件で、今、事業をして2年目になりました。来年完了という計画で進めておりますけれども、沖縄電力の電力柱に防犯灯を取りつけしたんですけれども、しかし、その取り付け後、接続の申請をするわけですけれども、その申請をした段階で却下されたというのが宮城でも2カ所ありました。多分、ほかの部落においてもそれがあろうと思っておりますけれども、そうすると、またもとの場所に、もとの木柱を立てて、またもとの防犯灯の取り付けをされているということになっているんですけれども、その場所は、その防犯灯は少なくとも許可がおりなければ交換の、新しい電柱に取りかえをしてLEDをとりつけするのか、そのままになるのか、それは業者とか電力との協議はなされておりますか、お願いします。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 答えします。却下されたというのは聞いていないんですけれども、今状況としましては、うちのほうで工事はしますけれども、新しい電柱とか、電柱を取りかえた場合、その場合うちの防犯灯のポールですね、ポールと電力の電柱をつなぐのは電力の仕事です、うちの工事は完了したんですけども、電力が今、このLEDの事業というのは南風原町だけでやっているところではなくて、ほかの市町村もやっていて、大変忙しい時期になっているということで、1日当たり大体50から60灯ぐらいしか接続できないというところがあって、それで時間がかかっているというふうに聞いております。却下されたとかそういうことではなくて、電力の作業が間に合っていないというふうに聞いておりますけれども、先ほどのお話にありましたが、古い電柱を新しいものに変えた場合、そのときもつなぐのは電力です。そのときに時間がかかっているということかなと考えております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 課長、今の捉え方はちょっと違っていると思っておりますけれども、実際に木柱についていたLEDですが、それは防犯灯がついていました。隣のコン柱に取りつけました。工事が終わったんです。終わった後、電力に申請しますけれども、申請の段階でこの電力柱には取り付けできませんということでこれが却下されているわけです。通常、トランス柱には難しいんですけれども、トランスがついていないコン柱には可能だと思いますが、それができないということの原因は何なのか。業者はまたもとの場所に、もとの木柱を立てて、もとに戻しているんです。これについて情報はあろうと思っておりますけれども、全く聞いていないんですか。もし聞いていけば、これに対して今後どのように対策をとっていくのか、それをお答え願いたいと思っております。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 この事案をまたお聞きしたいと思っておりますけれども、たしか古いものを使っているものはそのまま接続できますよということですね。新しいものを立てた場合、電力がこの作業をしますので、それに時間がかかっているということです。ですから今のお話ですと、古いものに戻したということでもあります、もうつながっていたものということだと思いますので、それでつけられたということになると思っております。ただ、新しいものにまた、今かえるという作業をするところだと思いますので、それをまたつけて電力の接続作業を待つということになるかと思っております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

3月23日（第6号）一般質問

○13番 玉城 勇君 ちょっと話がずれているんですけども、工事は終わったんです。木柱を撤去して、隣のコン柱に取り付けしたんです。取り付けしたんですけども、もちろん電気はついてるんです。ところがその後、これは電力のほうから却下が出て、またコン柱から器具を取り外して、またもとの場所に木柱を立てて、もとに戻したということ。工事がもとに戻ったわけですが、工事は終わったんです。ところがまたもとに戻したんです。これについて情報はないのかと。それで今後はどうするかということなんです。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 ちょっと我々の受け取り方が間違っていて、ちょっと食い違いがあったなと思っています。議員がおっしゃるように、もともと木柱にあったものを電柱につけて申請したらだめだということをおっしゃったというような、これは初耳ですね、先ほど課長のほうからも集中的に防犯灯設置の申請がいっぱいあるものだから、この辺がおくれているという話は聞いていましたけれども、こういったふうな、例えば当初、こっちに設置したものがまた戻されたというのは聞いておりません。そういうことであれば何らかの事情があってできないということだったのか、この辺、再度確認してから今後対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 それでは業者のほうに確認して、今後の取り組みについて、対策ですね、電力との協議も早目にやっていただいて、平成30年度でこの事業は終わる予定ですよ。ですからそれに間に合うように事業を進めていただきたいと思います。

それでは（2）の別途事業で進めている防犯灯、町も113台と8台の防犯カメラということでございますけれども、この進捗状況は今どのようになっておりますか。

○議長 宮城清政君 総務課長。

○総務課長 儀間博嗣君 進捗としましては、3月28日に完了を目指して今工事を進めております。現状としては1日ですね、15台をめぐりに防犯灯を設置する作業が具体的に行われております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 完了、最終年度というのは次年度になりますか。要するに平成30年度になるのか、またそれから伸びる可能性があるのか、それはいかがですか。

○議長 宮城清政君 総務課長。

○総務課長 儀間博嗣君 平成30年3月28日を完了に進めております。繰り越しの予定はしてございません。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 1つの例を申し上げますと、宮城にこの防犯灯が5灯という計画でしたけれども、平成29年度は2灯の設置ということでお話を聞いているんですけども、残りの3灯も発注されているんですか、これはいかがですか。

○議長 宮城清政君 総務課長。

○総務課長 儀間博嗣君 宮城も含めて、全防犯灯は全て発注済みでございます。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 じゃあ、後で確認してほしいんですけども、公民館のほうにはとりあえず2灯を先行して取り付けしますということでお話があって、その5カ所の中でどこを取り付けするかということで協議までして、業者にはその2カ所の場所を指定したんですけども、是非この事業所によって、取り組みはどういうふうになっているのか、それを確認してほしいんですけども、そういう情報は全くないですよ。

○議長 宮城清政君 総務課長。

○総務課長 儀間博嗣君 個別の字の進捗状況については、今資料を持ち合わせていなくてまだ把握はしていないんですが、エリアとしては津嘉山地区のほうを先着で着手しているということは確認しております。個別の事案については、また後ほど個別に自治会長を通して確認していくものだと考えております。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 それでは、最後に確認ですけれども、今防犯灯が113台、防犯カメラ8台、これが今月の3月28日には完了する予定だということによろしいですか。

○議長 宮城清政君 総務課長。

○総務課長 儀間博嗣君 ご質問のとおりでございます。

○議長 宮城清政君 13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 わかりました。終わります。